

適性検査問題にチャレンジ⑤

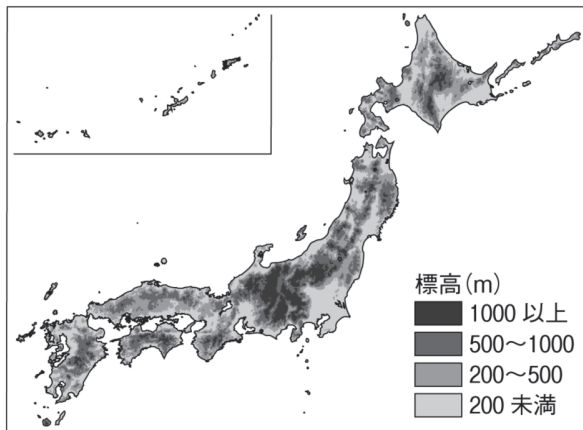
さくらさんは、日本の標高と人口分布の関係について考え、あとの2つの図を用意しました。次の会話文を読んで、問題に答えなさい。

さくら： 私は、日本の標高と人口分布の関係を調べたわ。

けいこ： 標高というのは海拔のことね。

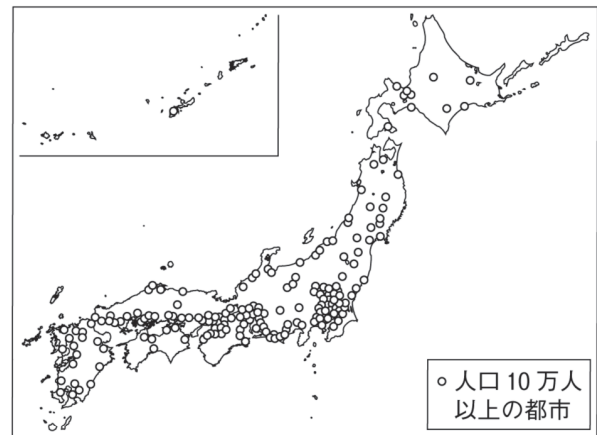
さくら： そうよ。平均海面から測った高さのことね。日本では東京湾の平均海面を標準としているわ。

【図1】日本の標高



(資料：国土交通省『国土数値情報』)

【図2】日本の人口分布



(資料：『第60回日本統計年鑑平成23年』)

問題

図1・2を見て、日本の標高と人口10万人以上の都市の分布の関連について読み取れる特徴を一文にまとめて書きなさい。

適性検査問題にチャレンジ⑤ 解答解説

解答例

標高200m未満の平野に人口10万人以上の都市が多く分布している。

解説

本問は、図1と図2の関連を読み取るものなので、相互に比べて特徴を考えていきます。すると、標高200m未満の場所(これを平野といいます)に人口10万人以上の都市が多く分布していることが読み取れるので、その点を一文にまとめて書きます。

日本の国土のおよそ4分の3は、山地(丘陵地をふくむ)でしめられているため、人の営みに利便性を感じるといわれる台地や低地は少なく、どうしてもそのような場所に人口が密集する傾向があります。公立中高一貫校入試では、土地利用に関する問題が多く出題されていますので、その点をふくめて学習を進めましょう。